

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品は、ドアを自動的に閉じる為の機械です。安全に長くご使用頂く為に、以下の《注意事項》をよくご理解頂き、正しくお取扱い下さい。

《注意事項》

1. ドアが勢よく速く閉まると、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。速度調整をしてもゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに修理、交換して下さい。強制的な閉扉操作は不具合の原因になります。閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
2. 閉扉速度は調整バルブを左右に回し適正速度に調整して下さい。調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。
3. 戸尻側に戸当りを必ず設置して下さい。
4. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
5. ドア及び金物にぶら下がって遊ばないように注意して下さい。

《施工時のお願い》

1. ドアを安全に開閉出来るよう、枠及びドアの補強(裏板)は強固に設置して下さい。
2. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
3. 金物の取付けネジは緩まないように、しっかりと締付けて下さい。

《安全管理の点検》《注意事項》に加えて、次に示す項目を点検して下さい。

1. 金物がスムーズに作動するか。
2. 変形、破損、音鳴り、ガツキがないか。
3. 取付ネジの緩み、脱落がないか。

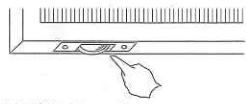
本書は必ずお施工様にお渡し下さい。

品番	DW×DH mm	ドア重量	備考
Ⅲ型	900×2100	20~40	面付型

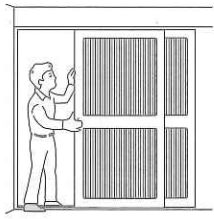
- 適用ドア開閉ストローク590~880mm。
- フリーの状態で7N以下の力で開けられるドアに使用して下さい。
- 左右兼用タイプ。

■引戸クローザを取付ける前に下記の注意事項をご確認下さい。

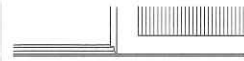
扉をスムーズに動く状態にして下さい。



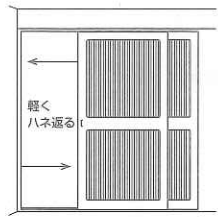
- 戸車のチェック。
油切れや古く傷んでいないか。



- 扉と扉・扉と枠等がすれていないか。

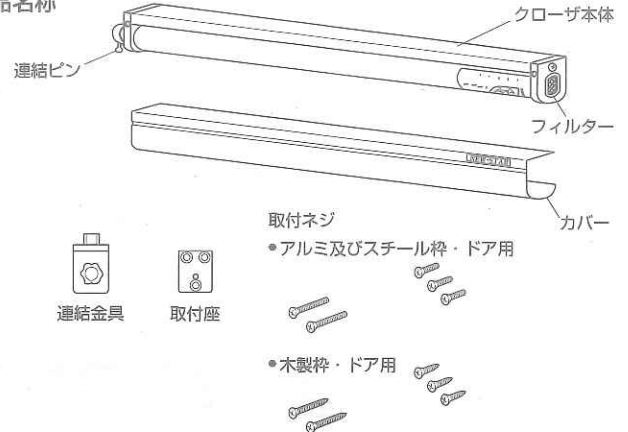


- レール上に泥や小石等が噛んでいないか。



目安として軽く手でしめてハネ返ってくるぐらいに調整して下さい。

部品名称

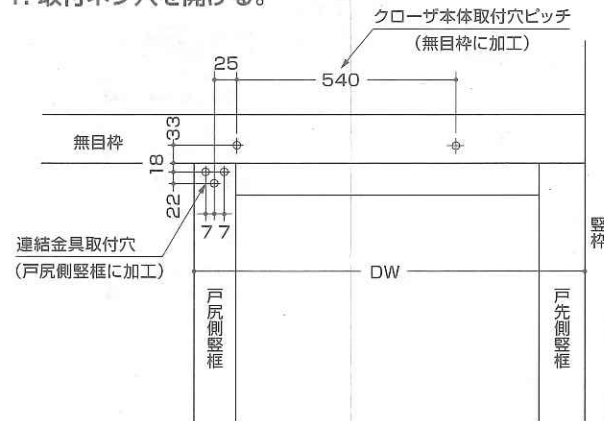


■取付要領及び順序

取付けに際しては、左右勝手の確認をして下さい。右引きの場合は、カバーを外して本体を表裏逆にして取付けて下さい。

左右兼用タイプ。
本図は左引きを示す。

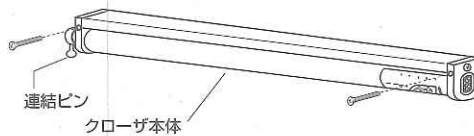
1. 取付ネジ穴を開ける。



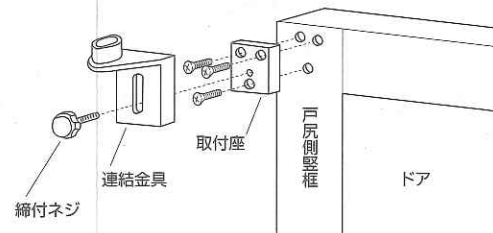
ドアは必ず閉じた状態で作業をして下さい。

2. クローザ本体及び連結金具を取付ける。

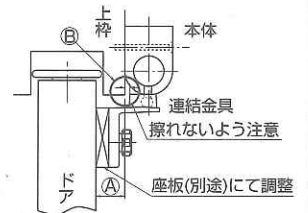
- ①クローザ本体を連結ピンが戸尻側にくるように、無目枠の表面に取付ける。



- ②取付座をドアの戸尻側縦枠に取付け、連結金具をその上に仮止める。

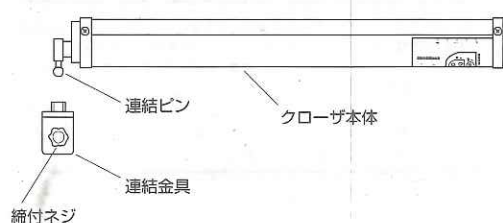


- 連結金具と上枠表面が擦れないように注意して下さい。A寸法が12mm以上ある場合には適当な座板でB寸法が必ず3mm以上になるように調整して下さい。



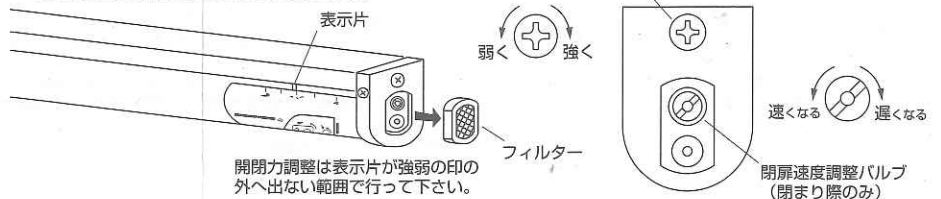
3. クローザ本体と連結金具を連結する。

クローザ本体の連結ピンを引出し、連結金具の高さ調整を行い、センターに連結し、締付ネジを固定する。



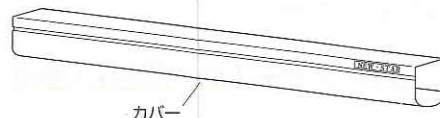
4. 調整する。

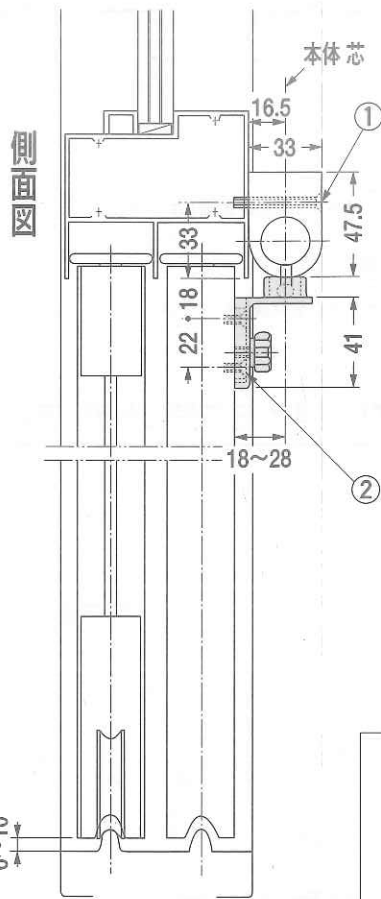
閉扉速度及び開閉力の調整が出来ます。



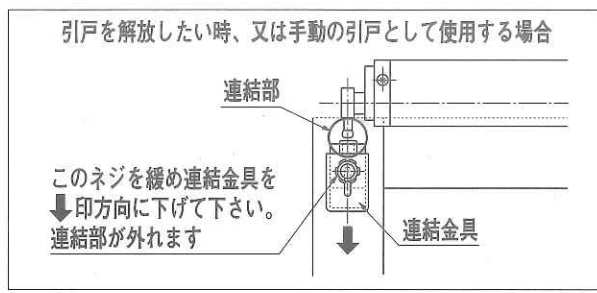
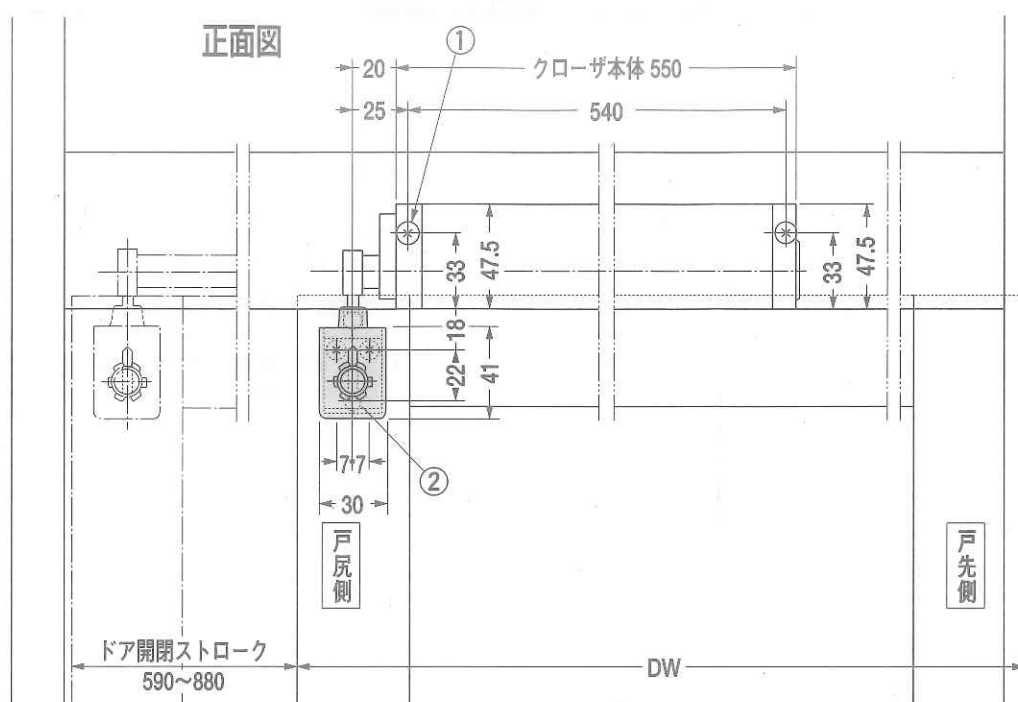
5. カバーをクローザ本体にはめ込む。

フィルターを外し、調整バルブを回して下さい。調整後、フィルターは必ず取付けて下さい。

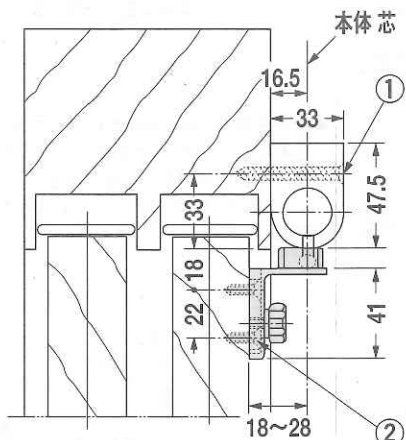




アルミ及びスチール枠・ドアの場合

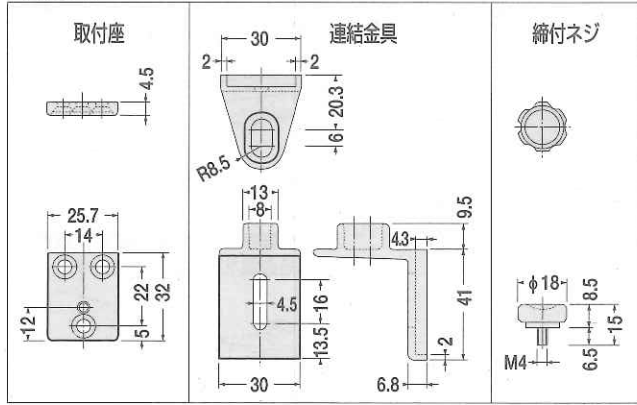


本図は左引きを示す。



木製枠・ドアの場合

部品図



取付ネジ

アルミ及びスチール枠・ドア	
①	2-M4 (P=0.7) ×40 皿タッピンネジ3種
②	3-M4 (P=0.7) ×10 皿タッピンネジ3種
木製枠・ドア	
①	2-φ4×50 皿タッピンネジ1種
②	3-φ4×16 皿タッピンネジ1種

商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から2年間
 (注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
 (注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、
 建築主様への引渡し日とします

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、右記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

- 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。
- ① 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
 - ② 製品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
 - ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
 - ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
 - ⑤ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
 - ⑥ 製品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など)、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
 - ⑦ 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など)
 - ⑧ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - ⑨ 引渡し後のドアの操作誤り、引戸クローザの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑩ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
 - ⑪ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせて頂きます。
 *お客様は法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

NEW★STAR 日本ドアエッチック製造株式会社

SINCE 1919
 東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411代
 (ニュースター-東京ビル)
 大阪本社 / 〒544-0014 大阪府生野区箕東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251代

札幌支店 / TEL(011)851-8255~6
 仙台営業所 / TEL(022)284-7501
 北陸支店 / TEL(076)243-2120代
 静岡営業所 / TEL(054)238-2751
 名古屋支店 / TEL(052)981-7531~2
 広島営業所 / TEL(082)877-1611~2
 福岡支店 / TEL(092)271-5491代
 高松営業所 / TEL(087)843-1212~3